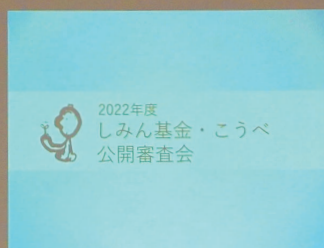


しみん基金・KOBENews

2022年12月 Vol.58



認定NPO法人しみん基金・KOBENews

発行日2022年12月

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通4丁目1-23

[TEL]078-230-9774 [FAX]078-230-9786 [MAIL]kikin@stylebuilt.co.jp [HP]stylebuilt.co.jp/kikin

2022年12月号

「いつも思うこと」

辻 幸志

しみん基金・こうべ審査員
特定非営利活動法人
こうべユースネット理事長

しみん基金・KOBENewsにおける助成金の審査員をお受けしていただく機会が長くなりますが、いつも会場に向かうときに思うことは、「本当に私で良いのかな・・・」と考えます。会場に入ると、今からプレゼンテーションに取り組むぞ的な勢いとその雰囲気、更に「私が審査して良いのかな・・・」と考えます。でも席に着けば、考える余裕もなくなり、分厚い資料が待ちかまえています。そのうち・・・気持ちの入った説明を真剣に聴き、このところを確認したいから、質問したいとの思いに進んでいきます。皆さんの真剣な説明に、こちらも真剣にジャッジしなければとの思いになります。そして公開審査で、丸いシールを持ち、貼っていくのですが、この時に会場は見えないようにしています。「この人はどこに貼るの？」と見られている気持ちになり、迷いがでる気があるのです。そのシーンを終えようと、心が落ち着き、自分なりのふりかえりを行う時間となります。

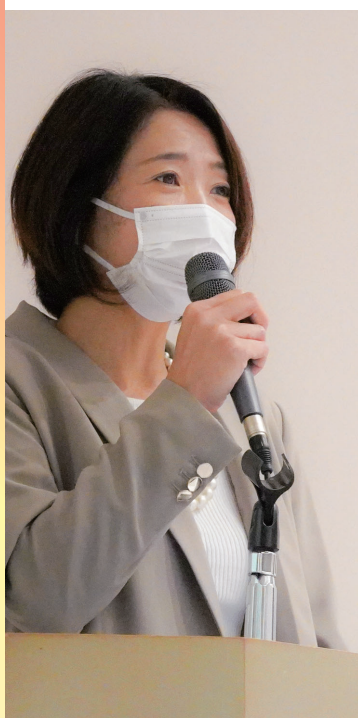
今年度も素晴らしい取り組みばかりでした。その中で順位をつけることは本当に難しいことです。

市民活動に真剣に取り組む皆さんの思いに、心から敬意を表します。

しみん基金・KOBENewsをご支援いただいている皆様へ感謝を込めて



2022年度助成事業公開審査会



昨年度はオンライン、一昨年度は非公開での審査会となっていました。3年ぶりとなる通常の公開審査会を、10月27日（木）13時～17時、こうべまちづくり会館で開催しました。

7月に例年通り申請受付を開始し、8月末まで受け付けました。6月に神戸市の大きめで新たな助成事業の申請受付があったのも関係してか、申請数は17団体とこれまでで一番少ない数となったため全団体にプレゼンテーションをしていただくということも考えられました。しかし理事会での審議とヒアリングを経てプレゼンテーション団体は15団体とし、結果的には近年では少し多めとなりました。

5分間の各団体の発表のあとの4分間の質疑応答では、審査員からは、質問というより、活動が必要な原因を考え、現状を変えていくことを促すような期待を述べられることもあれば、厳しい質問をすることもするなど、よりよい活動へのヒントとなることを願って、質問されます。

それらを経た審査の結果、9団体に助成が決定しました。（一般枠7団体2百万円、特定枠2団体48万9千円）これから1年間最大の成果を生む活動を目指し後方支援をしていきます。

award winners

助成決定団体

【一般枠】	01	(一社)神戸親子遊び推進協会	すべての子どもを取り残さない!こどもレシピコンテスト
	02	ひょうご子どもの水辺交流会	近畿子どもの水辺交流会の開催
	03	(特活)全国夜間中学ネット	学習支援塾「エデュケア」・自主夜間中学「エデュケアスクール」
	04	リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸実行委員会	リレー・フォー・ジャパン・神戸
	05	(公社)兵庫県精神福祉家族会連合会	2022年度メンタルヘルスセミナー
	06	(特活)フェミニストカウンセリング神戸	トラウマケアの視点をもった一時保育者養成講座
	07	ボランティアグループでいんぷる	大学生によるD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)プロジェクト
【特定枠】	T1	神戸大学持続的災害支援プロジェクトKonti	宮城県伊具郡丸森町における復興支援活動
	T2	全国災害ボランティア支援機構	東日本大震災被災者の継続支援と次世代を担う災害ボランティアの育成活動

黒田裕子賞

特定非営利活動法人ふおーらいふ



ふおーらいふ 理事長の中林 和子さん(中央)
職員の竹内 亜季さん(左)

今年度の第6回「黒田裕子賞」は、フリースクールを運営し、子どもを主体的な学びを支援している「特定非営利活動法人ふおーらいふ」といたしました。

同法人は、理事長をはじめ、スタッフの育ちあいの感性で、不登校や発達障がいの子どもたちとその保護者と共に寄り添い続けて25周年を迎えられました。当初より「生活と命」を大切にされている姿勢が黒田裕子賞の趣旨に合致するものであり決定いたしました。

公開審査会の同日、賞状と賞金との贈呈に際し、特定非営利活動法人ふおーらいふの中林理事長は「黒田さんの賞をいただけたことは大変光栄で、励みになる」と話されました。これからも誰も取りこぼさない活動が継続されることを期待しています。

KIITO:300 | FARMトークイベント | 第3回 300秒プレゼンテーション交流会



昨年度より、当基金は、デザイン・クリエイティブセンター神戸の地域／社会貢献活動コンシェルジュ「KIIOU・KIIOU（聞く・効く）」事業のアドバイザーとして関わり、創造的活動・社会貢献活動の管理運営支援業務を受託しています。その一環として、神戸で社会貢献活動や地域貢献活動がされている、団体や個人をプレゼンターとしてお迎えし、「300秒」という限られた時間の中でそれぞれの活動について発表いただく、プレゼンテーション交流会を実施しました。

今回は、9月21日（水）19時～20時半に当基金の助成先団体の皆さんにお集まりいただき、トークイベントを実施しました。

まず当基金の助成事業について説明した後、21年度助成先の5団体の皆さんに、この1年間の活動内容を300秒でお話しいただきました。参加者は、スマホでLIVEQというアプリを使い、随時質問を送信し、それが会場の画面に共有されます。当基金モデレーターがピックアップした質問に各団体の皆さんは熱心に答えておられました。最後は全員でフリートーク。少人数でしたがごじんまりと、交流の時間を持つことができました。



ご寄付いただきました。
兵庫県遊技業協同組合様

今年度も兵庫県遊技業協同組合様よりご寄付いただきました。同組合は地域のふれあいを大切にしながらよりよい社会づくりを進めることを目的に社会福祉貢献活動を行われています。その活動の一環の助成事業「はあく」とふるふぁんど支援事業」は、残念ながら2020年事業よりコロナ感染防止のため中止となっております。1日も早いコロナ禍の収束と事業の再開を願っています。

いただきましたご寄付は、当基金助成事業での助成金として大切に活用いたします。最後に継続的なご寄付に感謝申し上げます。

27日のひとり言

「コロナが残したもの」

中国がゼロコロナ政策を大きく転換し、緩和政策へ舵を切った。お隣の韓国でも屋内でのマスク着用を不要（屋外は既に不要）とする検討に入ったそうだ。先進諸国をはじめ諸外国は、既に「With コロナ」政策を取っており、日本だけが中途半端な政策のまま取り残された格好だ。海外からの渡航者を全面的に受け入れる緩和政策を打ち出し、街は外国人観光客で溢れ始めているにもかかわらず、自国民には行動制限とも受け取れるPRを行っている。同調圧力の強い国民性を利用して感じるのは私だけだろうか。以前にもコラムで述べたが、コロナ禍によって市民活動は制限され、かなりの団体が活動の縮小を余儀なくされた。それ自体は仕方の無いことだと思ふ。勿論、SNS等を利用した新しい活動の手法も生まれたが、対面での活動でないとならない事の方が多い市民活動ではオンラインのみでは難しい。活動の縮小と共に、様々な寄付・募金も減少傾向にある。当基金も同様に財源確保に四苦八苦しており、この状態が続くようなら、早晩に財源（助成金）の枯渇も考えられる。起こって欲しくは無いが、近い将来に大きな災害が予測される中、阪神・淡路や東日本の震災で得た知恵やノウハウを引き継いで行かなければ、この27年積み上げて来たものが無駄になってしまう恐れがある。コロナによって絶たれかけた絆を再度、結びなおすことが必要だと感じている。

しみん基金・こうべ 専務理事

瀬戸口 仁三郎

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3千円
 団体会員 年間 1万円
 お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、ご連絡いただくか、HPをご参照ください。

振込口座

三井住友銀行三宮支店 普通 8840183
 近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
 みなと銀行本店営業部 普通 1969895
 口座名義
 「特定非営利活動法人しみん基金・こうべ」
 郵便振替 00990・5・157334
 口座名義
 「しみん基金・こうべ」

当基金は認定NPO法人格のため、当基金へのご寄付並びに、賛助会費は・・・
 個人では、寄付控除を受けられます。
 税の優遇措置を受けるには、確定申告をしていただいて、その際当基金が発行する寄附金受領証明書（＝領収書）を添付して税務署にご申告をお願いします。

小口寄付にも効果のある「税額控除」
 高所得者がお得な「所得控除」
 どちらかお選びいただいでご申告いただけます。

法人では損益算入限度額が増え、一般のNPO法人への寄付と比較して経費にできる寄付額の限度額が大きくなります。

相続人は、相続財産のうち寄付した額が非課税になります。

会員数とご寄付のご報告（2022年11月末）

正会員 個人27名 3団体
 賛助会員 個人44名 10団体
 寄付・募金合計金額 95万7千9百73円

寄付者・募金一覧（敬称略・順不同）
 飛田雄一、中島秀男、高橋俊行、山口一史、瀬戸口仁三郎、宇都幸子、山本美恵、中谷豊、山田剛司、齋本郁、戎正晴、津久井進、㈱フルハウス技研、㈲神戸国際マーケティング、ヤフービジネスサービス、兵遊協福祉基金、しみん基金募金箱、公開審査会時募金、

※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。
 （2022年7月～11月）

※ご寄付、会費納入は、クレジット決済もご利用頂けますので活用ください。

当基金ホームページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

編集後記

事務所の引っ越し後とても狭くなったので、いかにスペースを有効活用するか悪戦苦闘。一応事務スペースは確保できましたが、ボランティアでお手伝いいただいで、2ヶ年計画で資料を捨てる作業真っ最中。そんなこんな年越しです。

よいお年をお迎えください。（と）